

# 物語 タイの歴史

微笑みの国の真実

柿崎一郎 著

210781165 牧野麗

柿崎一郎著

## 物語 タイの歴史

微笑みの国の真実



中公新書

1913

# <目次>

第1章 タイ族国家の勃興(古代～16世紀後半)

第2章 マンダラ型国家の隆盛(16世紀末～19世紀残半)

第3章 領域国家の形成(開国～不平等条約の改正)

第4章 シヤムからタイへ  
(立憲革命～第二次世界大戦)

第5章 国民国家の強化  
(戦後復興期～1980年代)

第6章 「先進国」をめざして  
(1990年代～)



# 第1章

## 徳川家の専制獨裁

寛政～16世紀後半

# 第1章 タイ族国家の勃興

## a) スコータイ王国

- ア) 1238年ラームカムヘーン王が建国
  - i) タイ国で初のタイ族国家

## b) アユタヤ王国

- ア) 1350年ラーマーティボーディー1世が建国
  - i) タイ族の勢力を拡大

c) ビルマ（現在のミャンマー）との対立激化

ア) アユタヤ王国

i) 1569年：ビルマにより一時占領

ii) 1584年：ナレースワン王により再建

→タイ族の統一へ

d) これらの王国の時代

ア) タイ族文化、宗教（仏教）が繁栄

イ) タイ国→独自の歴史と文化を形成



第2章

列強国家の隆盛

16世紀末～19世紀後半

# 第2章 マンダラ型国家の隆盛

## a) マンダラ国家

ア) 16世紀末～19世紀前半、東南アジア地域で繁栄

イ) 国家：円環状組織

i) 中央に王権、その周囲に従属的な諸侯

## b) アユタヤ王国やラーンナー王国の国家

ア) 中央の王権が諸侯に対して統制

→地方の支配も認容

地域ごとに独自の発展



# 第3章

# 領土家の形成

# 領土家と不平等条約の改正

# 第3章 領域国家の形成

- a) 1855年バンコクでのボーリコシャム号事件
  - ア) 事件の発端：船上でイギリス商人殺害
    - i) イギリス→政府に調査と責任者の処罰要求
    - ii) シyam政府：事件に関与→処罰
  - イ) 事件の解決後
    - i) イギリスとシyam（タイ）：条約を締結  
→シyamはイギリスとの外向的な関係改善
    - ii) ヨーロッパ列強との外交交渉：独立性を維持

## b) ラーマ5世（チュラロンコンクローン王）の統治 （1868～1910年）

- ア) 近代化の改革、行政の再編、奴隷制度の廃止、  
外交と列強のバランス、文化と宗教の保護
- イ) 国家の近代化が促進



第4章

米仏からタイへ

第二次世界大戦

# 第4章 シヤムからタイへ

a)立憲革命：「1932年タイクーデター」

ア) 絶対君主制から憲法制度への移行

イ) 1932年6月24日

i) タイの軍人や文官が結集、クーデター勃発

ii) 絶対君主ラーマ7世（プラチャートプホン）を退位

iii) 立憲君主制へと移行

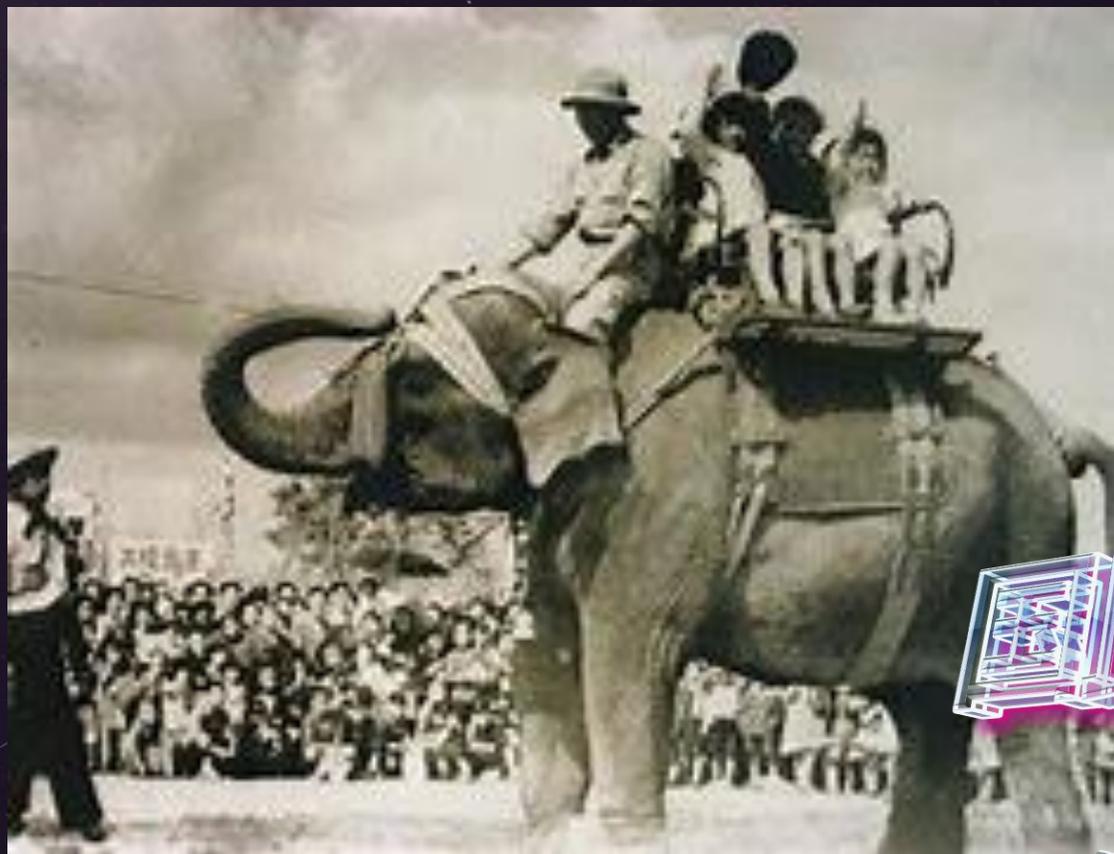
IV) 初代の立憲国王として

アナンダマヒドン（ラーマ8世）が即位

ウ) タイは立憲主義の方針に基づく政治体制への変革が開始

## b)第二次世界大戦の勃発

- ア) 1941年：日本との軍事同盟に調印  
→日本の支配下にある国々との国交を断絶
  - i) 連合国に対して宣戦布告
  
- イ) 1945年：日本からの独立宣言  
→戦後、連合国側へ
  
- ウ) シヤムからタイへ国名変更



第5章

民間家の強化

戦後復興～1980年代

# 第5章 国民国家の強化

## a)教育の普及

### ア) 識字率向上

→国内の教育水準向上

知識人の登場、技術者の育成

## b) 国家アイデンティティの強化

### ア) タイ政府による政策

- i) 歴史教育、王室への尊敬、宗教と文化の促進、国内言語の統一政策

## c) 国民経済の多様化

### ア) 農民主体から脱却

- 工業化やサービス業の成長



第6章  
先達國をめぐりして

1990年代

# 第6章 先進国をめざして

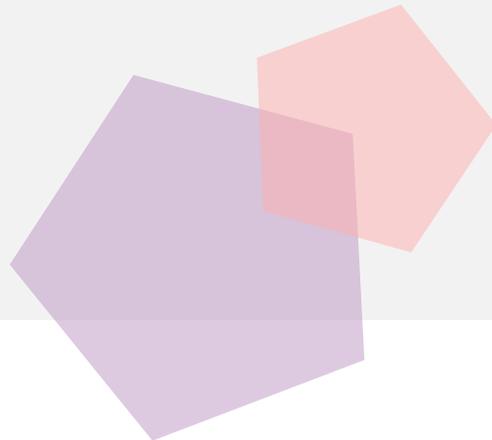


## a) 急速な経済発展

### ア) 新たな工業化や技術の導入

#### i) 情報技術や製造業の分野での成長

→国内総生産の増加、生活水準の向上



## b) 社会的な課題や格差

### ア) 地域間の格差

i) 首都バンコクと地方との間で経済やインフラの発展の差

ii) 教育や医療へのアクセス

### イ) 農村部や貧困層の人々の課題

i) 土地所有権の不均衡や労働条件の改善

ii) 政治的な不安定さが背景



これからのタイの重要な課題は大きく分けて**5つ**！

## 1. 政治的安定性の確保

過去数十年にわたり政治的な不安定さ  
クーデターや政変が発生  
→政治体制の安定化要求

## 2. 経済の不均衡と格差

タイの経済成長は一部の地域や社会層に偏っており  
→地域や社会的格差の縮小要求

### 3. 教育と技術の向上

世界的な競争に対抗

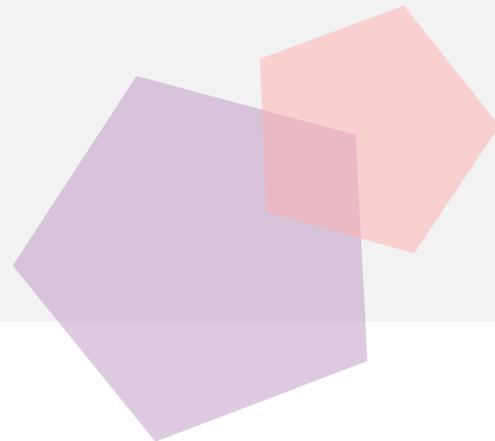
→教育制度の改善と技術力の向上が重要  
特に新興技術への対応

### 4. 環境問題への対応

環境保護や気候変動の影響への対応が必要  
特に都市部での大気汚染や水質の改善が課題

# 5. 民主的な価値観の強化

民主的な価値観や人権の尊重が強化  
→社会全体の発展と調和が期待





Thank you for listening

210781165

Makino Urara